

負けたくないと頑張った人生。 「日々是好日」の今



今回お話を伺った
橋内 さき子さん

今回は入居されて3年目の橋内さき子様（87歳）にお話を伺いました。

何とかなる何とかなでできる自信のあった 子供時代

子供の頃は事情があり養祖父母に育てられ、その後同居になった養母に気を遣う生活でした。そんな経験から幼い時から親に頼れないとわかっていました。でもなぜか、何とかなる、何とかできる自信がありました。

頑張って自分磨きができたお勤め時代

人に頼ってはいけなと思っていたので早く働きたい、自分で稼ぎたいといつも思っていました。18歳で電電公社に就職しました。交換手としての基本の研修を終え配属になり、しばらくは普通の交換業務をしていたら、課長から「英語を学びたい者はいるか？」と言われ手を挙げたんです。同じような経験者10人位と女学校の新卒者が一緒に進駐軍の交換業務に就くための教育が始まりました。新卒の人は英語

ができるけど交換業務はまだわからない。私達は交換業務ができるけど英語はわからない。一緒に教育を受ける仲間の中で負けたくなかったのね。決意して自費で英会話スクールへ習いに行きました。アメリカ人の話を聞いて、隣の課長に正しく答えるという試験があったの。合格すると給料がアップすると聞いて、頑張ったわ。給料は上がりましたよ。その当時は寝言を英語で言っていたと仲間に言われました。

主人が亡くなってから考えたこと

主人が亡くなって寂しいと思ったけど、不安はなかったの。結婚を機にお勤めを辞めました。当時は「これからはお茶・お華が必要な時代」と思い、ずっと続けていたので教室を持つことにしました。結婚していても自分できちんと生きて行けるように考えていたんですよ。人生の要所、要所で人に頼れないと感じてきたからだと思っています。そんな私が主人を亡くして、これからの暮らしを考えた時に、自宅を改造して老人コミュニケーションを創りたいと思いました。その時友人が「あんたも年を取るのよ！自分の将来を考えなさい」と言ってくれたのです。この一言のおかげで、施設への入居を考えるようになったんです。友人の助言はありがたかったです。

これからもやりたいことがいっぱい

子供のころから負けず嫌いの性格もあり何でも一生懸命なんです。陶芸や和紙の作品など数多く作りました。自分だけの世界に一つだけの物ができるととてもうれしいです。それと挑戦したいやりたい気持ちがいっぱいあって、なにかと興味がわくんです。今は豪華客船の船旅やトワイライトエクスプレスの新コースに出かける旅をしたいです。船旅では、一度はドレスアップして楽しんでみたい。昔、主人と北海道へ行った思い出があるので、トワイライトエクスプレスの新しいコースには是非乗ってみたい。まだまだやりたいことがたくさん。



里の友人と楽しいティタイム

「日々是好日」一日一日が幸せであるように、友人を大切にしていきたいです。一人になった時寂しいと思うかもしれないけど、寂しい中にも一人の時間を遣える幸せはあると思います。自分の意のままに暮らせるっていいことですよ。私は愛されたことがない。でもね、愛することが大事。自分からいく。すると人が寄ってきてくれるの。

橋内さんは、お話ししながら終止笑顔でした。